

レクチャーコンサート シューベルトの弦楽四重奏曲

シューベルトは多くの弦楽四重奏曲を書きましたが、初期の作品はもっぱら家族や友人との演奏のために作られました。ところが、1820年に生まれた第12番以降の四重奏曲は、作風をがらりと変え、明らかに交響曲を意識した緊密でスケールの大きな作品となっています。今回の芸術講座では、シューベルトの転機となった弦楽四重奏曲第12番と、シューベルト自身が「大きな交響曲への道」と宣言した後期作品の中でも、最後の弦楽四重奏曲である第15番を演奏します。歌心にあふれながら、器楽の作曲家としても円熟したシューベルトの世界をお楽しみください。



七條 めぐみ
レクチャー・本学講師

曲目 F. シューベルト：弦楽四重奏曲第12番 ハ短調「断章」 D 703 F. シューベルト：弦楽四重奏曲第15番 ト長調 D 887

2023 **7/15** [土] 15:00開演 [14:30開場] 愛知県立芸術大学 室内楽ホール
入場無料 全席自由 事前予約不要 (未就学児の入場はご遠慮ください)



F. アゴ스티ーニ

ヴァイオリン、本学客員教授



花崎 淳生

ヴァイオリン



桐山 建志

ヴァイオリン、本学教授



花崎 薫

チェロ、本学教授

伊・トリエステ生まれ。16歳でデビュー。1986年から伝説的な「イ・ムジチ合奏団」のコンサートマスターを務める。またソリストとして世界のオーケストラから招聘され、室内楽奏者としても長年国際的な音楽祭などで活躍。独・トロッシゲン、米・インディアナ、イーストマン各音大にて教鞭をとった後、現在、愛知県立芸術大学、及び洗足学園音楽大学の客員教授を務める。

京都市生まれ。東京芸術大学を経て大学院修了。1986年から87年にかけて、ドイツ、カールスルーエに留学。「古典四重奏団」として、97年村松賞、04年文化庁芸術大賞、07年同優秀賞、13年東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、16年度ミュージック・ペンクラブ音楽賞を受賞。古典四重奏団メンバー。CD多数リリース。

東京芸術大学を経て同大学院修了、フランクフルト音楽大学卒業。1998年古楽コンクール〈山梨〉第1位、1999年ブルージュ国際古楽コンクール第1位。主にALMレーベルから多数のCDをリリース。愛知県立芸術大学教授、フェリス学院大学講師。チェンバロの大塚直哉と共に「大江戸バロック」を主宰。

東京芸術大学、ベルリン芸術大学卒業、長年にわたり新日本フィルハーモニー交響楽団の首席奏者としてオーケストラを支えた。現在、愛知県立芸術大学音楽学部教授、東京シンフォニエッタ、東京クライスアンサンブル、メンバー。2022年ベートーヴェン、チェロとピアノの為の作品全集CDをリリース。

お問合せ

愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課 ☎0561-76-2873
(受付時間 平日 9:00~17:30)
〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114 URL <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/>

アクセス

◆名古屋方面から
市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、
東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車、
徒歩約10分

◆豊田・瀬戸方面から
愛知環状鉄道「八草」駅下車、
東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車、
徒歩約10分



●主催：愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 ●企画：愛知県立芸術大学 社会連携センター

※駐車場の数に限りがありますので、公共交通機関の利用にご協力ください。